

人間生活学研究科 博士後期課程 カリキュラムマップ

文化学領域 <博士(学術)>

		共通ディプロマ・ポリシー					領域別ディプロマ・ポリシー			
		1) 研究分野に関する国内外の動向を俯瞰的に把握し、自己の研究の位置づけを明確にすることができる。	2) 既存の知識や技術の応用に新たな視点を加え、知の創造に繋げることができる。	3) 人間生活に革新をもたらす政策開発ならびに意思決定への参画に繋がる研究を行うことができる。	4) 自己の研究を自立して展開していく態度と能力を有している。	5) 研究倫理に則り研究を完遂できる態度と能力を有している。	6) 文化の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。	7) 文化の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。	8) 高等教育機関における教授者として次世代の文化の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。	
ディプロマ・ポリシー ◎=学修成果の修得のために特に重要な科目 ○=学修成果の修得のために重要な科目										
共通科目	研究デザイン	◎	○	○		○	○	○		
	研究倫理				○	◎	○	○	○	
専門科目	栄養・生活学領域科目	地球環境解析学								
		環境生態学								
		居住環境学								
		人間栄養学								
		食品機能学								
		健康動態学								
	社会福祉学領域科目	介護福祉学								
		障害者福祉学								
		児童・家族福祉学								
		地域福祉学								
		国際福祉政策学								
		社会福祉計画論								
	文化学領域科目	地域文化学Ⅰ	◎	◎	○	○	○	◎	○	○
		地域文化学Ⅱ	◎	◎	○	○	○	◎	○	○
		言語文化学Ⅰ	◎	◎	○	○	○	◎	○	○
		言語文化学Ⅱ	◎	◎	○	○	○	◎	○	○
	研究指導科目	栄養・生活学特別研究Ⅰ								
		栄養・生活学特別研究Ⅱ								
		栄養・生活学特別研究Ⅲ								
社会福祉学特別研究Ⅰ										
社会福祉学特別研究Ⅱ										
社会福祉学特別研究Ⅲ										
文化学特別研究Ⅰ		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	
文化学特別研究Ⅱ		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	
文化学特別研究Ⅲ		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	